

■ 語句解説集

■ アルファベット	
AI	Artificial Intelligence の略称。人工知能の総称。
DV (ドメスティック・バイオレンス)	Domestic Violence の略称。配偶者やパートナーなど親密な関係にある男女間における暴力。
GIGA スクール	義務教育を受ける児童生徒のために、1 人 1 台の学習者用 PC と高速ネットワーク環境などを整備する構想。
ICT	Information and Communication Technology の略称。情報通信技術の総称。
IoT	Internet of Things の略称。様々なモノがインターネットに接続され、情報交換することにより、相互に制御する仕組みのこと。
PDCA サイクル	「Plan=計画」「Do=実行」「Check=評価」「Action=改善」の 4 つの段階を循環的に繰り返し行うことで、業務を継続的に改善する方法。
SDGs	Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略。2015 年の国連サミットにおいて採択されたもので、貧困や飢餓、さらには気候変動や平和など広範な分野にわたって 17 の目標が設定されている。
Society5.0 【ソサエティ 5.0】	Society1.0 (狩猟社会)、2.0 (農耕社会)、3.0 (工業社会)、4.0 (情報社会) に続く新たな社会。AI、IoT などの新たな技術により、これまでの社会の課題を解決する未来社会。
SWOT 分析	内部要因 (強みや弱み) と町を取り巻く社会動向の外部環境 (機会と脅威) の組み合わせから、今後の取り組むべき方策を導く手法。
T P P	環太平洋パートナーシップ協定 (Trans-Pacific Partnership Agreement) の略。環太平洋地域の国々による経済の自由化を目的とした多角的な経済連携協定。
■ ア行	
一億総活躍社会	少子高齢化の流れに歯止めをかけ、家庭・職場・地域で誰もが活躍できる社会をめざす国の政策目標
イノベーション	新製品開発や新資源発見など、旧来のものに代わって新規のものが登場すること、革新されること。
インバウンド	インバウンド (ツーリズム)。訪日外国人による観光。
インフラ	インフラストラクチャーの略。生産や生活の基盤を形成する基礎的な構造物。道路・通信施設などの産業基盤、および学校・病院・公園などの社会福祉・環境施設がこれに該当する。
オープンデータ	公的機関や企業等が保有するデータを、著作権、特許などの制限がなく、第三者が活用できる情報として公開する仕組み。
遠隔・オンライン教育	ICT 機器を通して離れた場所から学習する方法。
■ カ行	
粕屋町サポーター制度 (かすサポ)	高齢者の健康づくりと生きがいづくりを目的に、研修を受けたサポーターが地域の高齢者の見守りや教室のサポートなどの活動を行う制度。
環境負荷	人が環境に与える負担のこと。単独では環境への悪影響を及ぼさないが、集積することで悪影響を及ぼすものを含む。

関係人口	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に係る人々をさす。
キスアンドライド	家族に最寄駅まで送迎してもらい、そこから公共交通機関に乗り換えて通勤や通学などを行う方法。
キャリア教育	子どもたちが職業人としての自分の進路を自分で決めていく力を養うための教育
クラウド	コンピューターの利用形態のひとつで、ユーザーがソフトウェアをもたなくても、インターネットを通じて、サービスを利用できること。
グローバル化	政治・経済、文化など、さまざまな側面において、従来の国家・地域の垣根を越え、地球規模で資本や情報のやり取りが行われること。
健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。
交通結節点	交通機関の乗り換え、乗継ぎとしての機能をもつ拠点。
国土の強靱化	「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築に向けた取組。
子ども家庭総合支援拠点	児童福祉法に基づく、すべての子どもと家庭及び妊産婦などを対象に相談から支援までを行う拠点。特に要支援児童や要保護児童などへの支援の強化を図るもの。
コンテンツ	テレビやインターネット、スマートフォン等のメディアを介して伝達される文字や映像などの情報のことを指す。もともとは「中身」という意味で、情報の内容や中身のことをいいます。
■サ行	
サイバー犯罪	コンピュータネットワーク上で行われる犯罪。
シェルター	本計画では交通機関における駅などでの雨風から守るために設置される覆い（上屋）の事を指す。一般的には避難所に用いられることが多い。
ジェンダー	性別に基づいて社会的に要求される役割などの社会的性差。
自主防災組織	住民が地域ごとに団結して、まちぐるみで防災活動を行うための組織。
シティプロモーション	地域のイメージを高め、知名度を向上させる活動のこと。
シビックプライド	まちに対する住民の誇り・愛着・共感。
食品ロス	本来食べられるのに捨てられてしまう食品をさす。飲食店や小売店などで廃棄される事業系と家庭における食料廃棄の家庭系に分けられる。
浚せつ	河川の水底の土砂を取り去る土木工事。
人生 100 年時代	長寿化が進み、2007 年に生まれた子どもの半数が 100 歳まで生きると推計されており、100 年にわたる、これまでとは違う新たなライフスタイルが求められる時代。
スクールカウンセラー	学校に配置され、児童・生徒の生活上の問題や悩みの相談に応じるとともに、教師や保護者に対して指導・助言を行う専門家。
スクール・ソーシャル・ワーカー	学校を拠点に、不登校や家庭内暴力など子どもが抱える問題に対し、主に福祉的な視点から解決を図る専門家。
ストックマネジメント	既存の建築物（ストック）を有効に活用し、長寿命化を図る体系的な管理手法。
スマート自治体	AI などの ICT を活用し、職員の事務処理を自動化したり、効率的に行政サービスを提供する自治体。
3 R(スリーアール)	Reduce（リデュース、廃棄物の発生抑制）、Reuse（リユース、再使用）、Recycle（リサイクル、再生利用、再資源化）の 3 つの R の頭文字をとった言葉で、環境配慮のキーワード。
セーフティネット	安全網。ライフセーフティネットワークのことで、何らかの生活課題を抱えた人が、さらに困難な状況に陥らないように、安全網として生活を支える制度や仕組みのこと。

■タ行	
多文化共生	文化や民族などの異なる人々が、それぞれの文化や価値観の違いを認め、同じ地域社会の一員として、共に生きていこうとする考え方。
地域生活支援拠点	障がい者の高齢化、重度化や「親亡き後」を見すえ、障がい児・者が住み慣れた地域で安心して暮らせるようさまざまな支援を提供する拠点。
■ナ行	
ながら防犯	「散歩しながら」「買い物しながら」など、日常生活の中で防犯意識を持って行動しながら、地域の異変等に気づき、警察などに通報することで犯罪を未然に防止する活動。
認知症カフェ	認知症の方やその家族が、地域の方や介護・福祉などの専門家と身近な場所に集い、交流できる場。
■ハ行	
働き方改革	一億総活躍社会実現に向けた、労働環境を大きく見直す取り組みのことを指し、働く人びとが、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で「選択」できるようにするための改革。
バリアフリー	日常生活や社会生活における物理的、心理的な障害や、情報に関わる障壁などを取り除くこと。
ビッグデータ	膨大かつ複雑なデータの関係性を分析することで新たな価値を生み出すデータ群。
ファミリーサポート事業	子育ての応援をしてほしい人（依頼会員）と子育ての応援ができる人（援助会員）が、会員として登録し、地域において子育ての相互援助を行う事業。
プラットフォーム	駅の「プラットフォーム」にさまざまな人が乗っているように、近年、上部のさまざまなものを下から広く支えるグループや機能を指す用語として使用されている。
ペーパーレス化	情報を紙に印刷して閲覧、伝達、保管してきたのをやめ、デジタル機器の画面表示で代替すること。
ポテンシャル	本来持っているが現れていない潜在的な能力。
■マ行	
モチベーション	人が何かをする際の動機づけや目的意識。
■ヤ行	
有収率	給水する水量と料金として収入があった水量との比率。
ユニバーサル・デザイン	文化、言語並びに国籍の違い、老若男女といった差異、障がいの有無や能力を問わずに利用することができる設計（デザイン）。
■ラ行	
ライフイベント	就学、就職、結婚、出産などの生活上のさまざまな出来事。
ライフスタイル	生活の様式・営み方。また、人生観・価値観・習慣などを含めた生活の送り方。
ランドマーク	都市景観などにおいて目印や象徴となる対象物。
■ワ行	
ワーク・ライフ・バランス	仕事と生活の調和。やりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任をはたすとともに、家庭や地域生活においても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。